

Form 5

平成 21 年 10 月 2 日

## サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子
2. 参加研究者: Dr. Gora Diop.
3. 実施日時: 平成 21 年 9 月 30 日 (水) 14 :10 ~ 15 : 10
4. 参加生徒: 2 年生 41 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 43 人)  
備考: 2年理数科生徒
5. 講演題目: (英文) “Human genetic factors and infectious diseases: A view from HIV infection”  
(和文) ヒトの遺伝因子と感染症:HIV の視点から
6. 講演概要: ①セネガルの紹介  
②フランス留学について  
③HIV は、ヒトの T 細胞(CD4)やマクロファージ、樹状細胞に侵入して潜伏し、時を経てその細胞を破壊して再び細胞外に出る。ヒトによって感染してから発症するまでの期間に差があり、CD4が減少していかないヒトを調べると CCR5というサイトカインレセプターを遺伝的に持たないヒトは、HIV が細胞に侵入しない。そういったヒトは CCR5 の突然変異の劣性遺伝子をホモに持っている。私の専門分野は HIV と同じレトロウィルスである HTLV-1 であるが、日本では何故か九州などの南部に感染者が多く、その集団遺伝学的解析を行っている。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
  - (1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 15 分
  - (2) 講演方法  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳  
受け入れ研究者の研究室の看護師によるサポート  
協力者 職・氏名  
京都大学大学院医学研究科 笠原順子
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
専門用語や基本原理などをまとめた英文とその抄訳を、2週間前に配布。
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: セネガルの民族衣装をまとった笠原氏による翻訳・解説サポート。